

第1学年 図画工作科学学習指導案

に組 男子17名 女子18名 計35名
指 導 者 奥 俊 明

1 題 材 おってチョコキン

2 題材について

(1) 題材の位置とねらい

本題材は、紙を折り重ねて切り、同じ形がつながる面白さを生かして、つながる形を発想しながら折り方や切り方を工夫し表現する工作の題材である。

この期の子どもたちは、周りの人、物、環境などに体全体でかかわり、自分が思い付いた表し方を試すなどして、自分なりに工夫しながら活動を楽しむ様子が見られる。また、つくったり見たりしながら、自分なりの思いやイメージをもつ姿が見られる。そして、自分自身や友達との対話を通して、さらに思いやイメージを豊かにしていくこともある。

そこで、同じ形がつながる仕組みを生かして、つながる形を発想しながら折り方や切り方を工夫し表現することは、紙を切り開いたときにできる同じ形がつながる感動や面白さを味わうことができる。そして、できた作品から形や色、大きさといった造形要素を見だし、自分のイメージと関係付けて、自分なりにより豊かなイメージをつくりだしていく喜びを味わわせることができる。また、つながる形を想像したり、紙の折り方や切り方を工夫して形や模様を表現したりすることで、つくりだす力を伸ばしていくことができる。そして、できた作品の形や色、大きさといった造形要素を基に、お互いの作品を鑑賞し、友達の作品のよさや自分の課題について交流することで、互いの発想や表現の共通点や相違点を比較し関係付けて、感じ取る力を伸ばしていくことができる。さらに、自分の思いやイメージに合った折り方や切り方、材料を、自ら選んだり使ったりすることを通して、作品の構成や材料を工夫しながら、はさみやのりなどの用具を適切に使い、知識・理解、技能を高めていくことができる。

このように、同じ形がつながる面白さを生かして、つながる形を発想したり、折り方や切り方を工夫したりする題材は、第1学年の題材「おはなしぱっくん」で、牛乳パックなどの空き箱に切り込みを入れ、それを口に見立てて、愉快的な生きものをつくる工作の題材へと発展していく。

(2) 指導の基本的な立場

本題材で扱う紙は、折ったり切ったり、多様な色があったりと、自分の思いに合わせて表現しやすい特徴がある。また、加工することで、折った紙を切り開いたときにできる形の面白さを味わうことができ、「もっとつくってみたい」という思いをもたせることができる。これらのことから、紙を多様に加工し、新たな形を生み出し、表現する楽しさを味わいながら、意欲的に取り組む活動を展開していくことができると考える。

具体的には、まず、折って切り開くことでできる形の面白さに気付くことができるようにするために、教師が実際に折って切り開き、できた形を見せる。そして、つくったり見たりしながら楽しく活動に取り組むことができるようにするために、子どもの興味関心に合わせた活動のテーマを設定する。次に、つながった形ができる仕組みについて理解できるようにするために、参考作品を基に、折り方や切り方について話し合ったり、試しにつくらせたりする。そして、つないでできる形についての自分の思いやイメージと、紙の形や色、大きさといった造形要素とを関係付けながら、よりよい表現にしていくために、できた作品をお互いに鑑賞し合い、お互いのよさを交流する場を設定する。その際、形や色、大きさといった造形要素に沿って鑑賞したり、友達と感じたことを伝え合ったりしていく言語活動を通して、より豊かに思いやイメージをつくりだせるようにしていく。さらに、終末の鑑賞においては、これまでに気付いてきた造形要素を基に鑑賞し、できた作品を広幅用紙に貼るなどして、それぞれの楽しい空間を認め合えるようにする。

このような学習を通して、子どもたちは、切り開いてできる形の特徴を生かして、構成を考え、できた形を基にさらに工夫を加えたり、友達の表現のよさを味わったりして、造形活動に意欲的に取り組むことができると考える。

(3) 子どもの実態

本学級の子どもたちは、紙工作への興味関心について(※1)、多くの子どもが、紙を折ったり、はさみで切ったりする活動が好きである。しかし、2名の子どもが、思うように切れなかったり、

実態調査 1年に組 35名 (4月中旬実施)	
1	紙工作への興味関心について ※1 好き(33名) 好きではない(2名) (発想できない理由) ・思うようにはさみで切ることができない。 ・紙の端と端を揃えて折ることが難しい。
2	つなげてできる形を生かした発想について ※2 ・電車 ・バス ・鳥 ・ビル ・家
3	鑑賞活動について ※3 【友達の作品を見ること】 好き(31名) 好きではない(4名) (好きではない理由) ・つくるほうが楽しい ・友達の作品に興味がない 【友達に作品を見せること】 好き(32名) 好きではない(3名) (好きではない理由) ・見せてもいいことがない
4	はさみの適切な使い方について ※4 (適切ではない点) ・はさみの奥で切ること ・紙を回して切ること ・はさみの持ち運び方
5	のりの適切な使い方について ※5 (適切ではない点) ・薄く塗り広げること

り、端と端を揃えて折ることができなかつたりして、紙工作への苦手意識をもっている。そこで、導入の段階で、用具の使い方や基本的なつくり方を確認する場を設ける。つなげてできる形を生かした発想について(※2)は、多くの子どもが、電車やバス、家など、多様に発想することができた。しかし、実際に絵で表現すると、形や色を工夫した表現があまり見られない。そこで、題材の特徴を基に、様子を表す形やイメージに合わせた色といった造形要素に気付かせながら、イメージしたことを具体的に表現できるようにする。鑑賞活動について(※3)は、多くの子どもが意欲的に取り組むことが

できている。しかし、友達の作品を見ることに関して、「好きではない」と答えた子どもの理由に「つくるほうが楽しい」「友達の作品に興味がない」が挙げられる。また、自分の作品を見せることに関して、「好きではない」と答えた子どもの理由に、「見せてもいいことがない」が挙げられる。これらの理由から、他者との鑑賞活動に価値を感じていないことが考えられる。そこで、友達と協同的に行う活動を設定し、鑑賞の必要性をもって活動に取り組めるようにしたり、小集団で鑑賞会を行ったりして、鑑賞したことを表現に生かす価値を実感することができる働きかけを工夫する。はさみやのりの使い方について(※4,5)は、はさみの切り方や持ち方、のりの塗り方において適切でない点があった。そこで、はさみやのりの使い方について導入時に確認したり、掲示資料を使っていつでも使い方を確認したりできるようにしていく。

(4) 指導上の留意点

ア 「思いをもつ・見通す」段階では、まず、紙を折り重ねて切ると、同じ形がつながる面白さに気付くことができるようにするために、教師が折り重ねてある紙を実際に切って見せ、できた形について気付いたことを互いに交流させる。そして、鑑賞活動へ意欲的に取り組むことができるようにするために、友達と協同的に活動に取り組み、表現した喜びを味わえるような活動のテーマを設定する。




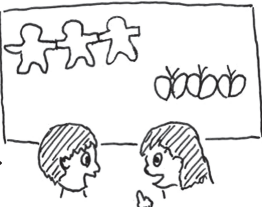

イ 「思いを表現する」段階では、つないでできる形を豊かにイメージし、表現することができるようにするために、つながると楽しそうな形について話し合ったり、実際に試しにつくりながら考えたりできるようにする。その際、参考作品と自分たちの作品とを比較することを通して、様子を表す形やイメージに合った紙の色などに着目して鑑賞させ、イメージをより豊かにつくりだすための場を設定する。

ウ 「思いを味わう」段階では、様々な視点から鑑賞できるようにするために、題材全体を通して、子どもたちが気付いてきた造形要素を基に鑑賞させる。また、友達と交流するよさに気付くことができるようにするために、互いの表現のよさに気付いたり、そのことを表現に生かしたりしたことについて、製作過程を振り返りながら価値付ける。

3 目 標

- (1) 紙を折り重ねて切ることで、同じ形がつながる面白さに気づき、つながる形や折り方、切り方を試しながら進んで活動することができる。
- (2) ○ 折り重ねて、切り開くことでつながる形ができる仕組みを生かして、つながる形を考えたり、形や色、大きさなどをイメージに合わせて表現したりすることができる。
○ 友達の表現を見ながら、つながった形の面白さを話し合ったり、教室の壁などに飾って楽しんでみることができる。
- (3) 紙を折り重ねて切ることで、同じ形がつながることを理解するとともに、はさみなどの用具を適切に使い、表現することができる。

4 指導計画 (全3時間)

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ		
思いをもつ・見通す	1 参考作品を基に、紙を折り重ねて切ると、同じ形がつながる面白さについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 同じ形がたくさん並んで面白いな。 </div> <div style="margin: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 【工夫するポイント】(授業で中心となる造形要素) ○様子を表す形 ○イメージに合わせた色 </div>	↑	○ 紙を折り重ねて切ると、同じ形がつながる面白さに気付くことができるようにするために、1枚の紙を切ってできた形と、折って切り開いてできた形を比較して鑑賞させ、気付いたことを交流させる。 ○ 表現と鑑賞を一体的に行う中で、意欲的に鑑賞活動に取り組むことができるようにするために、友達と協力して、教室をつないでできた飾りでいっぱいにするを活動のテーマとして設定する。		
	2 題材のめあてについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> つながるかたちをいかして、1のにおあるどをつくろう。 </div>			1	○ つながった形を生かした表現を、具体的にイメージできるようにするために、つながると楽しそうな形について話し合い、発想に生かせるように板書しておく。
	3 かざりをつくる。 (1) つながると楽しそうな形について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> お花がたくさんつながっていると、花畑ができそうだぞ。 </div> <div style="margin: 5px;">  </div> (2) 折り方や切り方を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 紙の端と端をつなげるために、切ってはいけない部分があるんだね。 </div> <div style="margin: 5px;">  </div> (3) つながる形をつくる。 (4) 友達のよさを生かして、さらに工夫する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 自分のイメージに合わせて、紙の色を選ぶと、もっと、楽しい飾りになりそうだな。 </div> <div style="margin: 5px;">  </div>			1 (本時2/3)	○ はさみなどの用具を適切に使うことができるようにするために、教師が実際にやってみせ、はさみなどの用具の適切な使い方について気付いたことを話し合わせる。また、随時確認できるようにするために、使い方について掲示しておく。 ○ 工夫するポイントを基に、自分のイメージをより具体化できるようにするために、子どもの活動の様子に合わせて、ミニ鑑賞会を行う。そして、工夫するポイントを基に、さらに自分の表現を豊かにさせる。その際、工夫するポイントを基に表現している子どもの作品と、工夫するポイントを生かしていない参考作品を比較させ、様子を表す形やイメージに合わせた色といった新たな造形要素に気付かせ、工夫するポイントとしてまとめる。
思いを表現する	5 友達と表現を紹介し合い、お互いの工夫や発想のよさを認め合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 1枚の紙を、折って切ることで、つながる楽しい形をたくさんつくることのできたよ。友達と一緒に教室中にたくさん飾って、楽しかったな。 </div> <div style="margin: 5px;">  </div>	↓	○ ミニ鑑賞会を通して生まれた新たな思いやイメージを表現に生かすことができるようにするために、ミニ鑑賞会後に製作する時間を設定する。 ○ お互いの表現のよさを交流し、自分の活動の過程や、友達と交流したよさを感じ取ることができるようにするために、工夫するポイントを基に学習活動を振り返らせ、感想をまとめ、交流させる。		
思いを味わう		1			

5 本 時 (2 / 3)

(1) 目 標

折って切り開くことで、つながる形ができることに興味をもち、自分や友達の表現について友達と交流することを通して、様子を表す形やイメージに合わせた色などを観点に、つながる形の工夫を考え、自分の思いに合わせて表現することができる。

(2) 本時の展開に当たって

本時では、思考の高まりを目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、イメージに合わせて工夫して表現している子どもの作品と生かしていない同じイメージの参考作品を比較させ、共通点や差異点から工夫した造形要素に気付かせ、多様な造形要素を基に、自分の表現をさらに工夫させる。

(3) 実 際

過程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ
思いをもつ・見通す	1 題材のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> つながるかたちをいかして、1のにわ あるどをつくろう。 </div>	(分) ↑ 8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習や、表現の見通しをもつことができるようにするために、第1時で設定した題材のめあてを振り返る。 ○ つながる形を表現する仕組みや用具の適切な使い方を理解できるようにするために、紙の折り方や切り方を確認したり、はさみの使い方を確認したりする。その際、活動中にいつでも振り返ることができるように黒板に掲示しておく。 ○ 思いのままに表現したり、友達の表現のよさに気付いたりすることができるようにするために、多様な色の紙や広幅用紙を準備する。そして、必要なときに示したり、好きな色の広幅用紙に自由に貼らせたりする。
	2 自分のイメージやつくり方を確認する。 3 製作する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 形を工夫 イメージ 蝶がたくさん飛んでいる飾りにしよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 色を工夫 イメージ 車がたくさん走っている飾り付けにしよう。 </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 【つくりながら考える】 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 蝶と分かるように、 羽を大きな丸い形に してみよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> かわいい感じにした いから、ピンク色の車 にしてみよう。 </div> </div> 【見て考える(ミニ鑑賞会や表現中)】 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 白い紙ではなくて、 黄色の蝶にしたら明る くなりそうだな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 車のタイヤをもっと 大きくしたら車とはっ きりわかりそうだな。 </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> 【見るポイント】 ・様子を表す形 ・イメージに合わせた色 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 新たなイメージ 蝶の羽の形と、紙の 色を工夫してつくっ てみよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 新たなイメージ 車の色と、タイヤの 形を工夫してつくっ てみよう。 </div> </div>	3 2	
思いを表現する	5 本時を振り返り、自分が工夫したことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 友達の作品を見ると、形や色など、いろいろな工夫があって、楽しそうな作品ができています。僕も、友達のよさを生かして、教室を楽しい飾りでいっぱいしましょう。 </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工夫するポイントを基に楽しい飾りをつくりだした喜びと、友達と互いに表現し鑑賞したよさを味わうことができるようにするために、「今日の学習で、工夫してつくれたのはどうしてだろう。」と問い、表現にこだわるよさや友達との交流の価値に気付かせる。
思いを味わう			